【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	<u>鹿屋市家庭教育支援チーム</u> (呼称:子育てかご RIN 鹿屋)
②活動拠点	リナシティ 社会福祉協議会内 和室
③活動範囲	大隅地域全域
④組織体制	<u>15 人</u> 生活倫理相談士 5名 民生委員 4名 元看護師、保育士 4名 ママさんサポーター 2名
⑤活動開始年度	<u>平成 15 年度</u>
⑥問合せ先	(部署·氏名等) 川畑 千賀子 (TEL) 090-7159-1403 (E-mail) kfc20130809@docomo.ne.jp

(2)活動内容について

①活動形態 (複数チェック可能)	☑保護者等への学びの場の提供
	□保護者等への地域の居場所づくり
	□アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)
	■ (□自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	□保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	口その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)
	口その他()
②活動対象	☑乳幼児 ☑小学生(低学年) ☑小学生(中学年) ☑小学生(高学年)
	□中学生 □高校生以上
(複数チェック可能)	の子供を持つ保護者に対する活動を実施

③活動内容	【具体的な活動内容】 「子育てセミナー」の開催 活動拠点であるリナシティかのや社会福祉協議会内で、鹿屋市教育委員会の後援をいただき、年間 10 回程子育てセミナーを開催しています。また、特別セミナーとして、思春期の子供を持つ保護者向けのセミナーも年1~2 回開催しています。	•
	・参加対象は学童期以下の子供を持つ保護者、または子育て世代。 ・セミナーの内容は、講話とグループトーク形式で、ママさんサポーターから 提供されたリアルな子育ての悩みをテーマとしています。 ・参加者同士のコミュニケーションと情報交換や悩みの共有を図り、講師によるアドバイスを受けることができます。個人相談もできます。	_
④活動の成果(活動実績がある場合)	子育てセミナーでは、参加者から「楽しかった」や「勉強になった」、「みんだ悩みは同じなんだ」などの声と、講師からのアドバイスで、子どもに具体的にどう声をかけたらいいのか、また、お母さんの心の持ちよう等を知ることができるので、実際に実行した方からは、「心が軽くなった」「子供に対して待つことができるようになった」「子どもが自発的に行動するようになった」等の報告があります。	こで
⑤活動財源 (複数チェック可能)	□文部科学省補助事業(事業名:) □文部科学省委託事業(事業名:) □厚生労働省事業(事業名:) □地方公共団体単独事業として実施 □特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) ☑その他の支援により活動を実施	